



ゴーカートチャレンジ



勝田さん運転で乗車体験



勝田さん(左)と井原さん(右)



恵那グルメ万博「えなぱく」



セレモニアルスタート

交通安全イベント
12月1日、市消防防災センターで、交通安全イベントが開催されました。
この日の午前10時からは「ゴーカートチャレンジ」と題し、走る楽しさと、安全の大切さを体感できるイベントが開催されました。キッズカートとスポーツカートが用意され、子どもも大人も普段乗ることがないカートの乗車体験を満喫しました。午後2時から「交通安全講話と同乗体験」が行われました。講師は国際自動車連盟／日本自動車連盟 Women in Motorsport 日本代表委員で、L1 RALLY in 恵那大会副会長を務める、国際A級レーサーの井原慶子さんと恵那警察署交通課長の神谷篤さん。井原さんは自身の国際レース出場経験を生かして運転の注意点を説明しました。その他にもモータースポーツを取り巻く世界の動きや、体調に気を配った食事など、多方面の見識から貴重な話をしました。

同乗体験では、井原さんが運転する車に乗ることができました。それだけでなく、今回は全日本ラリーチャンピオンの勝田範彦さんが運転する車にも乗ることができました。プロレーサーの2人が運転する車に乗って、ぬれた路面での走行をすることができ、参加者は貴重な体験を満喫していました。

L1 RALLY
12月2日、昨年に引き続き、国内唯一となる女性ドライバー限定のラリー大会が開催されました。出場したラリーカーは全国各地から34台あり、今年は市役所を発着地とする、総走行距離は約116km。競技区間のスペシャルステージは、東濃牧場周辺を2回と根の上高原を3回走行する走行距離18・5kmでタイムを競いました。ラリーカーはタイムを競う区間以外の走行は、一般車と同様に交通規則に従いながら移動しました。スペ

シャルステージを疾走するラリーカーは、根の上高原の有料観覧席から見ることができ、多くの観客でにぎわっていました。メイン会場となった市役所ロビーにはパブリックビューイングコーナーも設置され、スペシャルステージでタイムを競うラリーカーが生中継で放送され、テレビの前には多くの人だかりができていました。



保古の湖沿いを快走



タイムを競うラリーカーを観戦する観衆

WOMEN IN MOTORSPORT L1 RALLY in 恵那 2018 今年は迫力の走りを間近で観戦

12月1日と2日、WOMEN IN MOTORSPORTと題して、「交通安全イベント」と「L1 RALLY in 恵那 2018」が開催されました。
今回で2回目の開催となるL1ラリーは、メイン会場を岩村町から市役所に移して開催されました。今回のラリーで大きく変わったところは、タイムを競うスペシャルステージ（通称SS）がある根の上高原に有料観覧席を設け、ラリーカーの走行を間近で楽しむことができたことです。県内外から多くの方が訪れ、沿道も含め約1万2000人の方がラリーを観戦しました。メイン会場では、地元店舗のこだわりグルメが大集合する、恵那グルメ万博「えなぱく」が同時開催されました。12店舗の飲食ブースと6店舗の物販ブースが出店し、多くの方が恵那の味を堪能しました。



岩村本通りに並ぶクラシックカー



総合優勝車(中央)



L1 ラリーの参加者